

未来・ねりまニュース

平成26年4月

第11号

社会福祉法人未来・ねりまを支える会会報

目次

コラム「新年度に当たっての挨拶」
 ……P1、P2
 事務局だより……P2
 ねりま事業所だより……P3
 ねりま第二事業所だより…P4
 ねりま高松事業所だより……中紙表
 幼児教室とことこだより……中紙裏
 相談支援事業所だより……中紙裏

発行所 社会福祉法人未来・ねりま

〒176-0024 練馬区中村 1-7-10 マーベラスA101号

TEL 03-3577-8657 FAX 03-3577-8659

法人本部 E-mail honbu@mirai-nerima.or.jp

ねりま移行支援 E-mail ikou@mirai-nerima.or.jp

ねりま継続支援 E-mail keizoku-1@mirai-nerima.or.jp

ねりま第二 E-mail keizoku-2@mirai-nerima.or.jp

ねりま高松移行 E-mail ikou-2@mirai-nerima.or.jp

ねりま高松継続 E-mail keizoku-3@mirai-nerima.or.jp

ねりまGH高松 E-mail guru-puh-1@mirai-nerima.or.jp

幼児教室とことこ E-mail youji-1@mirai-nerima.or.jp

平成二十六年年度の始めに当って

理事長 眞保 真人

昨年度は、法人にとって大きな事業である高松事業所・グループホームを開設することができました。法人は今年体制を整え、着実な発展を計る年にしたいと考えています。長年にわたる小規模作業所時代からご努力いただいた木村所長が退任され、後任として、練馬区立貫井福祉園園長であった冬木邦二さんを所長に迎えることができました。また事務局長として、朝生修一さんを迎え、新たな視点で法人経営に当たっていただくことになりました。本年度もご支援宜しくお願いいたします。

平成二十六年年度にあたって

副理事長 ねりま高松事業所兼 齋藤 洋

ねりまグループホーム高松施設長 齋藤 洋
 平成二十六年年度から副理事長を拝命し、事務局長を朝生修一常務理事事務局長にお願いし、ねりま高松事業所兼ねりまグループホーム高松施設長及びねりま相談支援事業所施設長専任となりました。平成十九年法人設立以来、事務局長として法人の体制整備を図ると共に、法人の一大新規事業として推進してきましたが、昨年十月に開設しましたねりま高松事業所、ねりまグループホーム高松を安定した運営状況にすることが私に課せられた責務と思い、より良い利用者支援の視点に立ち、保護者、職員、関係者と力を合わせ、平成二十六年年度の事業を推進していきたいと考えています。

ねりまに樂園を！

常務理事・事務局長 朝生 修一

あるCEO（最高経営責任者）の言葉に、「地球に樂園をつくることはできる。まわりの人を笑顔にする小さなことを繰り返していけば樂園をつくれる」というのがあります。

未来・ねりまでは、利用者、保護者、関係者すべてのみなさんを笑顔にするため、毎日、サービスの心とスキルを磨き高めています。未来のねりまが樂園となるよう、日々小さな努力を積み重ねていきたいと思えます。

あげた

ねりま事業所 施設長 高谷 好文

ねりま事業所にお世話になって一年が過ぎました。この一年、分からないなりに一生懸命やらせて頂きました。まず、利用者さんと一緒にいる事にしました。おかげで利用者さんの日々の変化が少しずつみられてきました。この一年

あ かるく げんきに たのしく

「あげた」は、毎朝利用者さんと唱える、ねりま事業所のモットーになりました。意識を「あげた」技術を「あげた」工賃を「あげた」利用者、保護者、関係者と職員が力を合わせていきたいと考えています。

平成二十六年年度の始めに当って

ねりま第二事業所 施設長 冬木 邦二

ねりま第二事業所は、木村智恵子前施設長が三十五年をかけて築き上げた施設です。その木村さんが三月で退職され、その後を継いで四月より着任致しました。宜しくお願い致します。

私は、三月までは練馬区立貫井福祉園・貫井福祉工房に十年間、それ以前は都立石神井養護学校や大泉養護学校に勤務しており、ねりま第二事業所には卒業生が大勢いらっしやあって、よく声をかけてくださるので、とても心強いです。これまで築いていただいた、ねりま第二事業所の良い所を大切にしながら、六割を超える新しい職員の感覚も取り入れて、より良い施設づくりを目指します。

とことこイズム

幼児教室とことこ 室長 児玉 結花

幼児教室は春を迎え、卒室の子たちを送り出し、新年度にはまた新しい顔ぶれでスタートしました。新入室の親子はとことこがどんなところかと緊張してのスタートですが、親子で過ごすうちに笑顔も増えて少しずつ職員とも打ち解けてきています。

短い期間の療育ではありますが、「自分でできることをふやす」をめざして、日常の細やかなことまで支援することが、とことこイズムだと思っています。「三つ子の魂百までも」の言葉通り、身についたことが自信となってその子の将来につながっていかれると嬉しいです。

事務局だより

○平成 25 年度の事業活動のあらまし

ねりま事業所の就労移行支援事業は、前期はねりま高松準備室から 3 名、後期は 12 月に 2 名就労しました。就労継続支援事業(B型)は、本年 3 月末現在 33 名の利用者に対し、個別支援計画に基づく支援を行いました。

ねりま第二事業所は、10 月に利用者が 1 名ねりま高松事業所に転籍したため、3 月末現在で 38 名の在籍者となっています。職員の退職等もあり、支援の困難さもありましたが、事業所職員一体となって利用者支援の充実に向け、取り組みました。10 月に開設しましたねりま高松事業所は、就労移行支援事業 12 名、就労継続支援事業(B型) 8 名でスタートしました。就労移行は 2 名就労し、2 名が入所し、転籍等で 3 月末に 10 名となり、就労継続支援の利用者は 3 月末現在 10 名となりました。同じく 10 月にオープンだねりまグループホーム高松は 4 名の利用者で、法人として初めての事業を始めました。現在は利用者全員がグループホームでの活動を楽しみながら利用しています。児童発達支援事業初年度の幼児教室とことこは、利用者定員 10 名のところ、当初目標である 1 日平均 12 名以上の出席を達成しました。ねりま相談支援事業所みらいは、相談件数が 100 件を超え、増加傾向にあります。

○平成 26 年度の事業計画について

今年度は、社会福祉法人 未来・ねりまの事業基盤の強化を図ります。①ねりま高松事業所・グループホーム高松事業の安定運営体制の推進②第三者評価の受審(今年度はねりまおよびねりま第二事業所)による事業所サービスの向上③請求処理システム導入(ねりまおよびねりま第二事業所)による事務効率化の推進④幼児教室(児童発達支援事業)の安定運営体制の推進⑤ねりま相談支援事業所のサービス等利用計画業務の推進などを着実に実施してまいります。

支える会だより

○社会福祉法人未来・ねりまを支える会入会のご案内

<目的>ねりま事業所、ねりま第二事業所、ねりま高松事業所、幼児教室等の充実発展と利用者支援に寄与すること。

<会 員> 利用者・保護者、役員・職員・お取引業者等の法人関係者、親の会会員等でどなたでも入会出来ます。

<年会費> 1 口 2,000円ですが、希望口数としては、個人 1 口以上、団体・企業等 5 口以上でお願いしています。

<振替口座> 郵貯 00110-4-544768 社会福祉法人未来・ねりまを支える会(払込料金は会負担で手数料は無しです)

<お問合わせ> 練馬区豊玉中 4-10-6(社福)未来・ねりま ねりま事業所内 TEL3948-0275 FAX3948-5864 支える会事務局(齋藤、江連)にご連絡下さい。入会申込書兼入会受付書及び会則をお送り致します。

ねりま事業所だより

就労移行支援

平成26年4月より、ねりま事業所の就労移行支援は新規利用者を含む5名でスタートしました。昨年末に2名の方が就労され、それぞれ一生懸命に取り組まれています。就労移行支援では、利用者が毎日の活動内容を把握していけるように、週間、月間予定表を作成し取り組んでいます。内容としては求人活動や、訓練プログラム、勉強会といった就労を目指す為の活動の他、受託作業を組み込み、一人一人の利用者が毎日の活動内容を意識できるようにしています。また定期的な運動プログラム(スポーツセンターを利用)など、身体を動かす余暇的な時間も取り入れていきます。今年度も、ハローワークや等の就労機関との連携を取りながら、利用者の希望に合わせた就労を目指していきたいと思ひます。

訓練プログラムのひとつでパソコンの練習を行っています。まずはパソコンの操作に慣れる事が必要ですが、それぞれのレベルに合わせて文書を作成、表を作成したりなど取り組んでいます。15分間でどのぐらいの文字を打ち込む事ができるかなど、それぞれ意識をしながら集中して練習しています。



株式会社アメディアから受託している作業です。色々な種類の作業を頂いています。写真の作業は集音機の完成品の検品作業です。外箱の傷、へこみ、製品が全て揃っているかなど、計40工程のチェック項目を検品します。製品が汚れない様に、手袋を着用して一つ一つ丁寧に見ていきます。

明るく・元気に・楽しく

就労継続支援

新年度がスタートしました。継続にも新たに3名の仲間が入り、在籍36名となりました。

年齢層も19歳~70歳と幅広くなり、個々の支援が重要となっています。

「明るく・元気・楽しく」をモットーに仕事だけではなく、行事や余暇活動にも力を入れ、「通いたい」「楽しい」と思える事業所を利用者と共に作って行きたいと思ひます。

継続事業紹介

「喫茶事業ゆうゆう」
練馬区障害学習センター1階で営業しています。

「受注作業」
付録作り・封入作業・箸入れ・もぐさ(詰め・清掃)・シート袋入れ・圧着等

「委託事業」
公園清掃(豊玉公園・かしわ公園)
アパート清掃(20棟)



ねりま第二事業所だより

平成 26 年度は、利用者さん 34 名でスタートしました！職員も増え、毎日がとてもにぎやかです♪

～平成25年度 後期行事報告～

3/2 皇居周辺福祉マラソン大会



ゴーーーー

3/5 バスハイク in 富士サファリパーク



雨だったけど、たのしかったね～



ゆ、雪……



～作業風景 外作業編～

ポステイング



1枚1枚正確に！

園芸活動もやっています♪



公園清掃&アパート清掃



きれいだね。



職員の豆知識

はじめまして。非常勤で入職しました、木村容子です。早く皆さんの名前を覚えて、一緒に楽しく仕事をしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



ねりま高松事業所だより

就労移行支援

就労移行支援は、平成 25 年度にねりま高松事業所準備室の利用者も含め、5 名の利用者が一般就労しました。また、すでに新年度も 2 名の利用者が一般就労しています。

一般就労することで、本人たちも自信につながり、「楽しい！もっと頑張りたい！」との声が聞かれています。ねりま高松事業所では、今後も利用者のニーズに沿い、自分に合った働き方をサポートしていきます。

平成 26 年度新体制紹介

ねりま高松事業所は、平成 26 年 1 月より、石川明子サービス管理責任者が着任し、支援体制を作っています。定着支援の強化をはかるべく、平成 26 年 4 月より、これまでねりま事業所で支援をしていた須藤美花子支援員を迎え、質の高いサービスを行えるよう取り組んでいきます。現在、利用者は、10 名で、一般就労に向けた基礎的なプログラムを組んで日々活動しています。



須藤美花子

石川明子

就労継続支援

《新しい体制でスタートしました！》

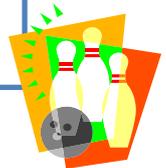
平成 26 年 4 月より、新規利用者 2 名を加え、12 名の利用者でスタートしました。職員もねりま第二事業所より椎葉サービス管理責任者を迎え、新体制で利用者支援にあたっていきます。

*4 月よりかしわ公園清掃を始めました。

へちま栽培始めました。
今後の成長に
乞うご期待！！

《25 年度行事活動から》

3 月 28 日に池袋でボーリング大会を行いました。7 チームに分かれ、得点を競いながら、楽しくボーリングをしました。初めての人もいましたが、「また、やりたい！」という声が多く聞かれました。ボーリングの後は、バイキングで食事。たくさんの種類の料理に迷いながらも好きなものを選んで食べていました。



ねりまグループホーム高松

開所してから半年。みなさんととても仲良くすごしています。ご飯の準備や片づけも協力しながら行っています。夕ご飯を食べた後は、絵を描いたり、世話人と話したり、部屋で好きなことをしたりとゆったりと過ごしています。2 月から休日を利用した課外活動も始めています。

利用者活動紹介コーナー

好きな絵を描いて飾ってます



野菜を切って、盛り付けて・・・完成！

幼児教室とことこだより



平成26年度も、各クラス14~15名と賑やかにスタートしました。

通常クラスは、2歳から就学前の子供たちで、初めての集団生活。まずは母子通室で、少しずつ分離をしていきます。とことこに来て、初めての体験にドキドキのみんなですが、給食はもりもり食べています。普段食べないものもお友達と一緒にだと美味しく食べられるようです。

就園児クラスは幼稚園・保育園に通いながら週1日通室しています。昨年よりもさらにステップアップして個別に目標を立て課題に取り組んでいます。集団でのゲーム遊びもルールを学びながら楽しんでいます。

これから、沢山の笑顔が見られるよう保護者と職員が協力し合って進めていきます。



ねりま相談支援事業所みらいだより

「ねりま相談支援事業所みらい」は、練馬区もしくは周辺の区にお住いの障害者や障害児、またはそのご家族の、地域生活の安定と社会的自立を支援する事業所として、平成25年7月に事業展開をしました。

現在は、専任の相談支援専門員1名、兼任の相談支援専門員1名で、特定相談支援事業と障害児相談支援事業の2事業に力を入れて活動しています。平成25年の1月から現在までの間に、約150件のご希望やお悩みを聞き、サービス等利用計画案に反映していききました。

まだまだ相談員としての力量は不十分ですが、これからも職員の専門性を高め、他機関との連携を図ることで、練馬区に住む方々の力となれるように努力していきたいと思っております。

住所：練馬区中村1-7-10 マーベラスA101

TEL：03-3577-8658

FAX：03-3577-8659

アクセス：都営大江戸線・西武池袋線「練馬駅」から徒歩17分

京王バス・西武バス「南蔵院」から徒歩2分

